

めさんには、いかでか参らではあらん、いかにもの給はせん事を聞くべきなりと申させ給へば、参らせ給はど目もくれぬ陣に左大臣殿○敦明男藤原顯光の御車や、ごせんどものあるを、なまむづかしとおぼせど歸らせ給べきならねば、殿上にのぼらせ給て、参りたるよしけいせさせよと藏人のたまはすれば、おほい殿の御まへにさぶらはせ給へば、たい今はえなん申候はぬときこえさする程みまはさせ給に、にはの草もいとふかく、殿上のあり様も東宮のおはしますとはみえず、あさましうかたじけなげなり、おほい殿いで給てかくとけいすれば、朝がれひの方にいでさせ給て、めしあれば参り給へり、いと近くこちとおほせられて、ものせらるゝ事もなきにあないするも憚り多加れど、おと長○道に聞ゆべき事のあるを、傳へものすべき人のなきに、まぢかきほどなれば、たよりにもと思ひて、せうそこし聞えつるなり、そのむねは、かくて侍るこそは本意ある事と思ひ、故院○三條の玄おかせ給へる事を、たがへ奉らんもかたぐに憚り思はぬにあらねど、かくてあるなん思ひつゝくるに罪深くもおぼゆる、うちの御行末はいと遙にものせさせ給いつともなくてはかなき世に命も去り難し、この有さまのきて、心にまかせて行ひをもし、物まうでをもし、やすらかにてなんあらまほしきを、むげにさきの東宮にてあらむは見苦しかるべきなん、るんがう給りて、どしに受領などありてなむあらまほしきを、いかなるべき事にかと傳へられよとおほせられければ、かしてまりてまかでさせ給ぬ、その夜はふけにければ、つとめて殿に参らせ給へるに、うちへ参らせ給はんとて、御さうぞくのはどなれば、え申させ給はず○中略源民部卿賢○俊よりおはして、などかくてはおはしますと聞えさせ給へば、この殿には隠し聞えさせ給べきことにもあらねば、しかくゝの事のあるを、人々のさふらふめれば、え申さぬなりとの給はするに、御けしき打かはりてこの殿も驚き給いみじうかしこき事にこそあなれ、たいとく聞せ奉らせ給へ、うちに参らせ給なば、いと人がちにてえ申させ給はじとあれば、げにと